

## 自律的な自己改革への取り組み

政府がすすめる農協改革の進展の中には、信用事業分離や准組合員の事業利用制限など、これまでのJAのあり方を根本的に変える提案がなされています。平成28年4月に農協法が改正され、JA自己改革が求められているなかで、JA塩尻市では組合員・地域の方に愛され指示されるJAであり続けるため、将来を見据えた未来を拓く自己改革に取り組んでいます。

我々は総合事業の堅持と地域・組合員に必要とされるJAであり続けるために、組合員・地域とともに一歩先のJAをめざし改革に取り組めます。

### 1. 農業開発基金活用による地域農業振興への取り組み

当JAを含むJA長野県グループでは農業振興ビジョンの実践に向け、新品目・新技術の導入や新規就農者など生産者に向け直接支援を行うため「JA長野県農業開発基金」を平成21年度から造成してきました。また、当JA独自の農業生産増大アクションプランを補完するために行う事業施策の支出に備えるため「農業生産振興積立金」を積み立てています。

### 2. 農業所得増大、JAへの結集力向上に向けた取り組み

- (1) 農業所得増大、JAへの結集力の向上にむけて、水稻大口農家へコスト低減資材の推進をしました。農業については他社との競争が増す中で、価格調査を行い調査結果に基づいた価格対策を行いました。直売所「新鮮市場ききょう」では、売り場レイアウトを変更したことにより生産者持込み品販売額の増加に繋がり、利用者にも快適に買い物できるように努めました。また、色彩選別機の導入により米の品質が向上し有利販売に繋がりました。
- (2) 担い手支援対策として、定年帰農者へ技術支援による農業講座を開催し、担い手育成と農地有効活用を図りました。また、新規就農者の受け入れ研修、遊休農地活用による農業生産の拡大、労働力支援を目的として設立されたJA出資の子会社「農業法人株式会社JA塩尻ファーム」と連携し地域農業の振興を図りました。
- (3) レタス・キャベツなどの収穫支援やアスパラガス・キュウリの荷造り支援により、労働負担の軽減・生産量維持拡大を図りました。また、アスパラガス雨よけハウス導入の補助事業申請事務支援や記帳代行サービス・税理士による税務相談も行い申告事務の軽減に努めました。
- (4) 農林中央金庫農機具等リース応援事業等の活用により、コスト低減に取り組む農業者に対して、リース料の一部を助成しました。
- (5) 今後の具体的な取り組み
  - ① 販売力強化・取引拡大・高単価販売に向けて取り組みます。

- ・生産者主体の契約取引専門部設置による契約販売の強化（そ菜）
- ・アスパラガス契約取引拡大（そ菜）
- ・共選品目上位等級 商標登録「特糖星」設置販売（果実）・無核ぶどう1kgギフト規格販売
- ・アスパラガス・キュウリ・ピーマン生産振興
- ・優良品種の導入（リンゴ・なし・ぶどう・もも）
- ・園芸流通センター冷却設備改修工事により、品質保持による有利販売・有利市場対応

② 農家負担軽減・生産拡大に向けた総合支援を実施します。

- ・収穫支援事業の充実（レタス・白菜・キャベツ・加工トマト・加工ブドウ・長芋）
- ・アスパラガス雨よけハウス導入補助
- ・園芸流通センター荷造り支援作業所の改修工事により、出荷者の労力軽減・生産面積拡大（アスパラガス・キュウリ・ピーマン）

③ 低コスト栽培技術普及、生産資材予約受注への結集、物流コスト削減による生産コストの低減をすすめます。

- ・リンゴ新わい化、なしジョイント栽培技術の普及
- ・多収性品種「とよめき」の導入（米穀）
- ・アスパラガス夏秋どり推進
- ・担い手への生産資材予約受注推進（肥料・農薬・園芸資材・出荷資材）
- ・生産資材取引充実（戦略に基づいた資材価格設定）
- ・指導と連帯した「私の肥料」・大規格農薬普及推進（米穀）
- ・市場集約による輸送コスト削減

④ 担い手対応強化、出向く営農指導体制・購買組織体制を構築します。

- ・全農・JA指導・JA購買の3者が連携した、中心的担い手への訪問活動（研修会等の開催、栽培技術他購買品等の情報提供、コスト低減資材推進）。
- ・いきいき農業塾開催（果菜類栽培推進）
- ・JAファーム研修生、果実実習開始

### 3. 准組合員や地域の皆様へ「食」と「農」の理解を深め、地域農業の応援団を拡大するための取り組み

- (1) 農業を知ってもらうための体験活動、保育園・小中学校への食育教育の実施、学校給食への地元農産物の提供等、農業や地元農産物を理解してもらうための取り組みをすすめました。
- (2) 「農業所得の向上」・「県内産農畜産物の消費拡大」といった地域農業の応援を目的とした、JA農産物直売所クーポン券付き定期貯金「マルシェ」の取り扱いをしました。

### 4. 組合員や地域の皆様とともに地域活性化にむけた取り組み

- (1) 年金友の会は、各種活動を通じ会員の皆様の健康で楽しい人生づくりを応援するとともに、地域の仲間づくりに取り組みました。また、今年度はすべての年金受給者を対象に「年金受給者の旅行」を企画し、大勢の方に参加いただき交流ができました。
- (2) 地域とJAの結びつきを強めるため、JAまつりをJA塩尻市流通センター1ヵ所で開催し大勢の組合員・地域の皆様に参加いただきました。

こうした取り組みには事業費用のほか、法律で定められた営農指導・生活文化改善事業の費用に充てる「次期繰越剰余金」や、総代会で承認いただいた「農業生産振興積立金」「積立金」等を充当しています。これらの繰越金や積立金は、組合員の皆様が事業利用していただくことにより、確保されています。